

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	被爆二世健康診断調査委託費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和54年度		担当課室	総務課指導調査室		総務課指導調査室 稲葉 和男		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-3 原子爆弾被爆者等を援護する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「被爆二世健康診断調査事業の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当委託費は、被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状にかんがみ、希望者に対し健康診断を実施し、被爆二世の健康状況の実態を把握するとともに健康管理に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被爆二世健康診断調査委託費 委託先:都道府県、広島市及び長崎市(健康診断は、医療機関等へ委託し実施) 対象者:被爆二世であって健康診断を希望される方							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	168	176	178	181	184	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	168	176	178	181	184		
	執行額	168	169	175				
執行率(%)	100%	96%	98%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	本事業は主に被爆二世への健診の実施であるため、成果目標を数値で定量的に示せるものではない。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	被爆二世健康診断受診者数(一般検査)		活動実績(当初見込み)	人	17,913	18,187	17,600	-
					-	(20,160)	(20,160)	(20,468)
単位当たりコスト	8,430(円/人)		算出根拠	上限単価:8,430円(各検査項目の診療報酬点数を積み上げて算出)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	委託費	181	184	健診単価の増				
計	181	184						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状をかんがみると、事業目的や重要性の観点から優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	目的(被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状にかんがみ、希望者に対し健康診断を実施し、被爆二世の健康状況の実態を把握するとともに健康管理に資すること)を考慮すると、国が実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	診療報酬改定に基づき、適切に設定されている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	被爆二世健診事業を実施する上で必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	過去の実績を勘案すると、当初見込みに対しおよそ9割ほどの達成率となっている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	被爆二世の症状の改善、寛解及び治癒を図ることに活用されている。
点検結果	平成24年度予算については、健診単価の増及び健康診断の受診状況(対象人員)を踏まえ、対前年度101.5%(3百万円増)の規模に見直しを図った。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性、執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	180	平成23年行政事業レビュー	157

厚生労働省
175百万円

委託契約に基づき、事業に要する経費を交付。

【委託】

A 都道府県、広島市、長崎市(49都道府県市)
175百万円

委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施。健康診断について、医療機関等へ委託。

【委託】

B 医療機関等
165百万円

医療機関等は、健康診断を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.広島市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	健康診断に要する経費	63			
賃金	臨時職員に要する経費	1			
計		64	計		0
B.医療機関等(広島市)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
健診費	健康診断に要する経費	63			
計		63	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島市	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	64	随意契約	
2	長崎市	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	32	随意契約	
3	広島県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	20	随意契約	
4	大阪府	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	8	随意契約	
5	長崎県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	7	随意契約	
6	神奈川県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	5	随意契約	
7	山口県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	5	随意契約	
8	福岡県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	4	随意契約	
9	兵庫県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	3	随意契約	
10	愛知県	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関等へ委託	3	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島市医療機関	被爆二世健診の実施	63	随意契約	
2	長崎市医療機関	被爆二世健診の実施	31	随意契約	
3	広島県医療機関	被爆二世健診の実施	19	随意契約	
4	大阪府医療機関	被爆二世健診の実施	7	随意契約	
5	長崎県医療機関	被爆二世健診の実施	6	随意契約	
6	神奈川県医療機関	被爆二世健診の実施	4	随意契約	
7	山口県医療機関	被爆二世健診の実施	4	随意契約	
8	福岡県医療機関	被爆二世健診の実施	3	随意契約	
9	兵庫県医療機関	被爆二世健診の実施	2	随意契約	
10	愛知県医療機関	被爆二世健診の実施	2	随意契約	